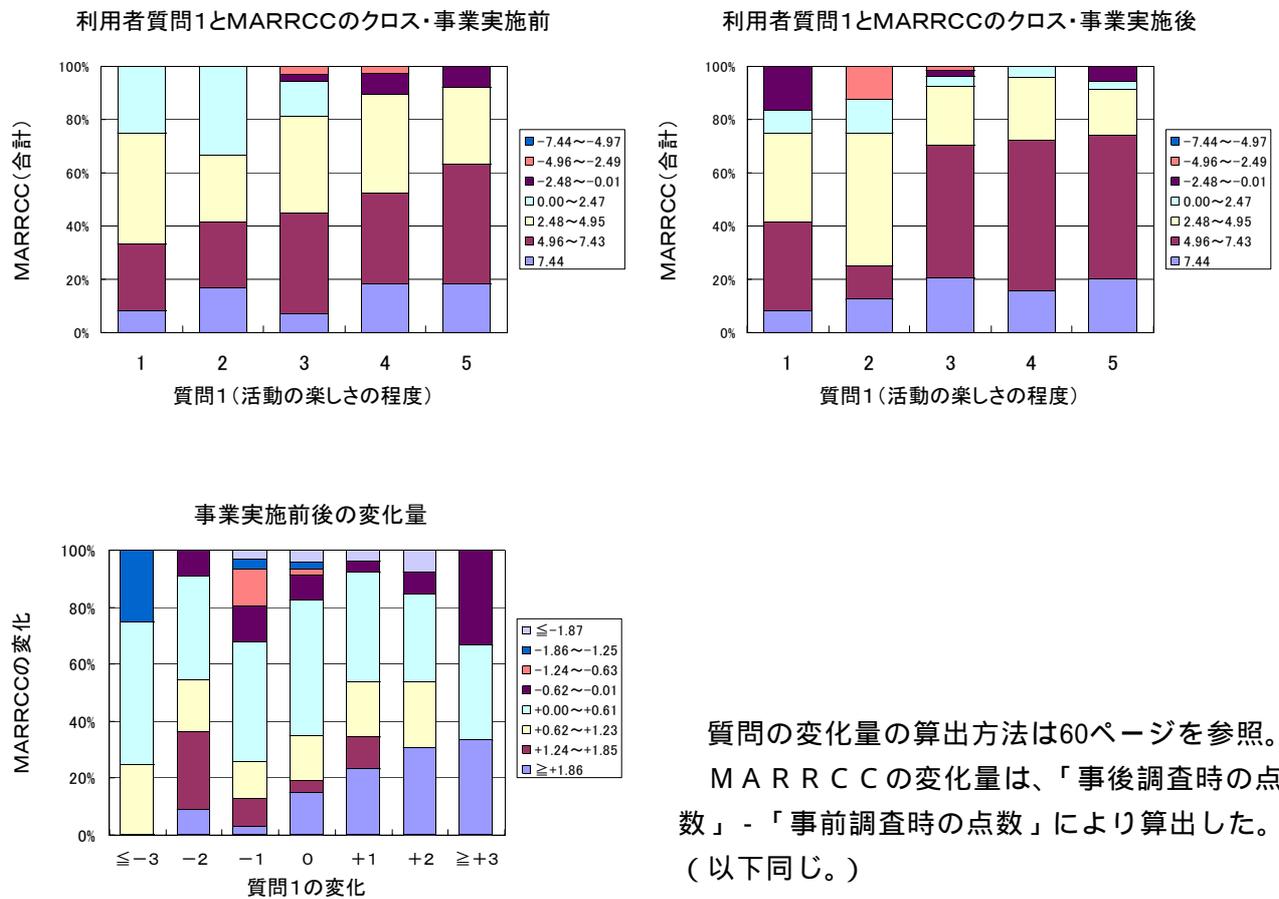


6 MARRCC (クロス集計)

(1) 楽しい・やりがいがあると思う程度と心身機能との関係 (利用者質問1とMARRCC (合計))



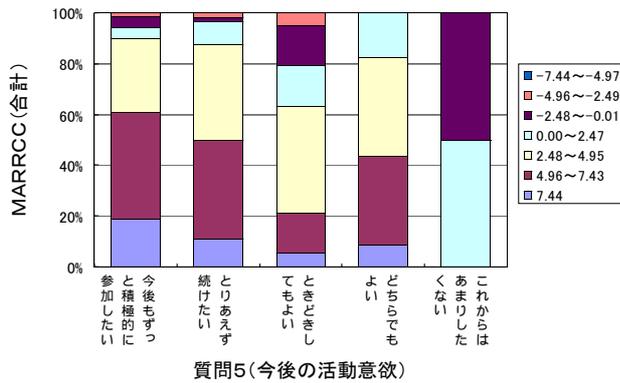
事前調査、事後調査ともに、MARRCCについて「7.44」点と「4.96~7.43」点の合計は、活動の楽しさの程度が非常に楽しいとする「5」で最も高く、次いで「4」「3」の順となった。()

「事業実施前後の変化量」を見ると、MARRCCの変化が「+1.86点以上」は、質問1の変化が「+3以上」で最も高く、次いで「+2」「+1」「0」の順となった。()

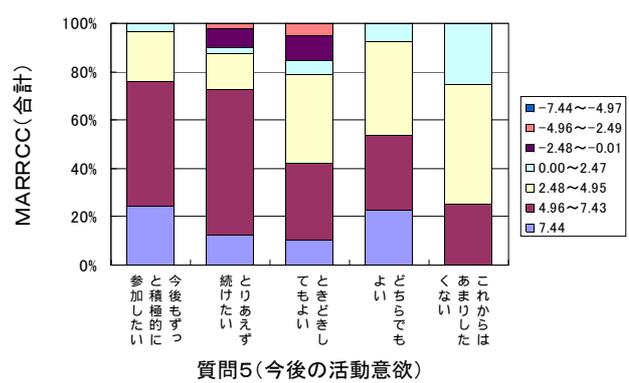
これらのことから、
活動が楽しい・やりがいがあるとするほど心身機能が高い傾向にある
モデル事業の活動を以前の活動よりも楽しい・やりがいがあると感じるほど心身機能の向上の
割合が高くなる傾向にある
ものと推察される。

(2) 活動意欲と心身の健康との関係 (利用者質問5とMARRCC (合計))

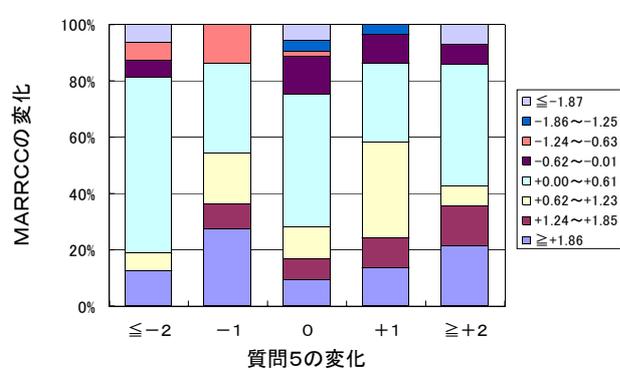
利用者質問5とMARRCCのクロス・事業実施前



利用者質問5とMARRCCのクロス・事業実施後



事業実施前後の変化量



質問の変化量の算出方法は64ページを参照。(以下同じ。)

事前調査、事後調査ともに、MARRCCについて「7.44」点と「4.96~7.43」点の合計は、「今後ずっと積極的に続けたい」で最も高く、次いで「とりあえず続けたい」となっており、「これからはあまりしたくない」で最も少ない。()

「事業実施前後の変化量」を見ると、MARRCCの変化が「+1.86点以上」は、質問5の変化が(「-1」を除き)「+2以上」「+1」「0」の順で高かった。()

これらのことから、
 活動意欲が高いほど心身機能が高い傾向にある
 モデル事業の活動を以前の活動よりも意欲を持って行うほど心身機能の向上の度合いが高い傾向にある
 ものと推察される。